



山口市社会福祉協議会の方にお越しいただき、4年生が福祉学習の一環としてアイマスク体験を行いました。最初に、目の見えない方や見えにくい方の状況を説明していただき、ガイドをする際には、安全第一で、声かけをしっかりとしなければならないことを教えていただきました。その後、子どもたちはペアになって、段差のある所や狭い所を歩いたり、椅子から立ち上がったり座ったりする体験をしていきました。今回の学習を通じて、目が見えない状況で白杖を頼りに歩くことの不安感と適切にガイドをしてもらえることの安心感、相手の立場に立って思いやりの気持ちをもって対応することの大切さを学ぶことができました。来週は同じく社会福祉協議会の方のご指導で、車椅子体験を行う予定になっています。